

若者たちの SDGs

みんなで考えるSDGsプロジェクト 誰ひとり取り残さない社会を目指して

SDGsに取り組む若い世代を応援する東京新聞シリーズ企画「若者たちのSDGs」。今回は、今年3月に実施した「みんなで考えるSDGsプロジェクト」の第2弾をお届けします。地域の大学生と中小企業・小規模事業者の支援機関である中小機構(独立行政法人 中小企業基盤整備機構)関東本部が、神奈川県相模原市にある学習塾が取り組む「お弁当版子ども食堂」のSDGsを共に考えたプロジェクトを紹介します。

プロジェクト参加メンバー

さがまち学生Club

2013年「相模原・町田大学地域コンソーシアム」を母体として「学生のチカラでまちを盛り上げる」をコンセプトに活動をスタート。学生メンバーが主体になって地域活動を行っている。



女子美術大学2年 横山 日南さん 相模女子大学3年 大津 優衣さん 和光大学3年 和光 夏実さん

メダカのお弁当

今年4月より、相模原市内の学習塾「慶翔ゼミナール」を経営する鈴木雄大さん、佳奈子さんご夫婦が始めた取り組み。地域の子どもとその保護者を対象に手作り弁当を無料で提供している。「さがみはらSDGsパートナー」にも登録。現在「メダカのお弁当」をNPO法人化するべく申請中。NPOメンバーとして、近隣で学習塾などを経営する同志3名が集まった。



代表 鈴木 雄大さん 鈴木 佳奈子さん
慶翔ゼミナール 塾長 同塾 講師

2002年設立。中学・高校受験をメインに指導。子どもたちの「食」を重んじ、塾給食も実施している。



横浜元町の学童併設型学習塾。定期的に各分野のプロを講師に招いて親子体験イベントなどを開催。

横浜市内で発達障害の小学生・中学生・高校生を対象とした放課後等デイサービスなどを運営。

経済的に苦しい家庭の中学生や高校生などを対象に無料で学習支援を行っている。今年で設立10周年。

中小機構(独立行政法人 中小企業基盤整備機構)

中小企業政策の中核的な実施機関として、企業の成長ステージに合わせた幅広い支援メニューを提供。昨年3月、中小企業のSDGs推進に向けた活動内容を決定し、「中小企業SDGs応援宣言」として公表した。中小企業のSDGs取り組み状況に合わせた支援を展開している。



さがまち学生Clubと中小機構が 「メダカのお弁当」を訪問!

8月～
9月上旬

学生クラブと中小機構は、今回のプロジェクトでSDGsと共に考える企業や団体を検討し「メダカのお弁当」を推薦。代表の鈴木さんは「皆さんと意見交換し、活動を広く発信できるよい機会」と参加を快諾した。

後日、学生クラブと中小機構は「メダカのお弁当」の活動拠点である「慶翔ゼミナール」を訪問。弁当支援を始めたきっかけは「自分の子どもたち4人に毎日お弁当を作っていたが、5、6人分作るのも手間は同じ。その分、誰かに手渡せると想った」と鈴木さん。現在は、学校がある平日だけでなく、夏

休みなども一日12、3食作り、塾生でなくても予約を入れた親子に無料で提供しているという。「利用条件は一切ない。経済的に困っている家庭だけでなく、仕事と子育てに忙しい保護者の方もサポートしたい」。実際に利用した保護者に話を聞くと「夏休みに子どもに毎日3食作るのは大変。子育て世代は誰でも応援すると言つてくれるので、気軽に利用できる」「お弁当がおいしいと、子どもたちも喜んでいた。子育ての



心を込めてお弁当を作る鈴木さん。ボリューム満点弁当は大人気!

相談もできて、いつも助けられている」と支援の幅広さがうかがえた。

意見 交換会 レポート

9月
上旬

※さがまち学生Clubが執筆

食と教育は直結している



地域のみんなで 子育てできる社会に

現地訪問後、メダカのお弁当、学生クラブ、中小機構は意見交換会を行った。メインテーマは「メダカのお弁当の取り組みは、SDGsとどのように関連するのか」。学生クラブからは「目標1番『貧困をなくそう』、4番『質の高い教育をみんなに』に合致する」という意見が上がった。鈴木代表は「持続可能な社会づくりのために、次代を担う子どもたちの貧困対策は欠かせない。だから目標の1番目になっていると思う」。イルム元町スクールの甲斐さんも「お腹が満たされて初めて勉強への意欲が湧く。食と教育は直結している」と語った。一方、中小機構の赤荻さんは「女性の社会進出が進む中で、子育て世代を支援するこの活動は、8番『働きがいも経済成長も』にも当てはまる」と見解を述べた。

「メダカのお弁当のような民間団体が活動を継続できるよう、我々も考えていきた」と中小機構の岩井さん。「そのため地域の方々や行政とのネットワークも欠かせない。17番『パートナーシップで目標を達成』も当てはまる」と同機構の亀井さん。同機構の上江洲さんは「今後、お弁当のニーズが増えたときにどう対応しようと考えているか。行政との連携については?」と質問。鈴木代表は「無理なく活動を続けるために我々の活動が大きく拡大することはない。同じ志をもつ人たちに新たな拠点をつくってほしいと考えている」。八王子つばめ塾の小宮さんは「行政支援の特徴は、平等性や大きな財



SDGs取り組み検討会

9月
下旬

意見交換会後、メンバーが再び集合し、メダカのお弁当の今後の活動に関する議論を深めた。同活動の目標の一つは「活動拠点(仲間)を増やすこと。自分でもやってみたい!という方を募りたい」と鈴木代表。八王子つばめ塾の小宮さんは「運営マニュアルを渡すような拡大の仕方ではなく、理念を共有する“ゆるやかにつながる弟子”のような存在が増えるといい」。鈴木代表は「そのためにまずこの活動を知ってもらいたく、SNSにも力を入れている」。これに対して中小機構の小森さんは「この活動がSDGsに関連していることも投稿内容に入れるとよいのでは。SDGsに関心がある人にも届くはず」。同機構の上江洲さんの「食材などを提供してくれるパートナーも必要。食品ロス問題などを抱える農家や食品加工会社と組むのはどうか」という案に対して、鈴木代表は「すでに数ヶ所から食材のご支援はいただいているが、持続可能な活動のためにも今後もパートナーは欠かせない」と語った。

もう一つ議題に上がったのは「環境への配慮」。「現在、弁当容器は使い捨てプラスチック容器を使っているが、支援者から寄贈いただいた使い回せる弁当箱も一部で使うようになった」と鈴木代表。鈴木佳奈子さんは「とてもありがたいが、容器を洗って返すことに負担がかかりそうな家庭には使わない。使い分けが大切だと思う」。同機構の亀井さんの「利用者が持参した“マイ弁当箱”に詰めるのもよいのでは」というアイデアには皆が賛同。学生クラブの大津さんからは「コストはかかるが、紙のお弁当箱はおしゃれで開ける楽しみがある」という意見も出て「その時にベストと思えるものを選択したい」と鈴木代表。イルム元町スクールの甲斐さんは「SDGs=環境保全と認識している人もいるかもしれないが、SDGsは17の多様な目標に向かって動いている。私たちはの中でも貧困対策やまちづくりをメインの目標としていることも発信していきたい」と展望を語った。

「働きがいも経済成長も」中小機構

SDGsの17指標の中では、「働きがいも経済成長も」「産業と技術革新の基盤をつくろう」が経済分野の指標として取り上げられます。日本は過去30年間、賃金の上昇がほとんどない中、業務で必要なスキルは多く求められ、やりがいと経済成長を実感できている人はあまり多くはないのではないでしょうか。そのため企業は自社が求める人材の獲得が難しく、早期の離職が高まっているという状況に繋がっていると思います。また、新型コロナウイルスの影響で多くの企業が売り上げの回復ができていない状況です。特に減収減益が続く中小企業では、技術革新に必要な設備投資や人材育成に手が回らないという声を業務の中でよく耳にします。そのような課題で中小企業の皆様がお悩みでしたら、ぜひ中小機構に、課題解決に向けた取り組みをサポートさせていただけないでしょうか。中小企業の皆様が、より働きがいが向上し、経済成長も感じられ、未来のための投資を行うことができる豊かで潤いのある組織づくりに、中小機構ならびにSDGsをご活用いただけますと幸いです。(上江洲 達也)

企画・制作／東京新聞広告局



中小企業の持続可能な発展のために

SDGs

の取り組みを サポート!

中小機構 関東本部では、SDGsに取り組む中小企業・小規模事業者の皆様に対し、さまざまな支援メニューをご提供しています。お気軽にご相談ください。

SDGsって、何だろう?
SDGs経営に取り組みたいけどどうしたらいい?

そんな時はコチラへ!

有料
セミナー
参加者募集!

SDGsを経営やビジネスに活かす方法
～社会課題から新しいビジネスをつくる～
開催日 2022年12月7日(水)・8日(木)



SDGs 支援メニュー

無料 SDGs 説明動画の 提供

SDGsについての説明動画を無料でご提供します。1本あたり15分～20分程度で、社内研修等にてご活用いただけます。

無料 セミナー& 個別相談会

※セミナーのみの開催、講師派遣はできません。

セミナーにてSDGsの取り組み方法やメリット、事例などをご説明した上で、個別相談会を実施いたします。

有料 セミナー& ワークショップ

自社事業におけるSDGs活用案を検討していきます。2～3日間程度の実施で、内容や実施方法についてはご相談ください。

無料 SDGs 経営相談 窓口

SDGsに関するご相談に、専門家が対面・オンライン・メールなどの方法でご対応いたします。何度もご利用可能です。

有料 ハンズオン 支援 (専門家派遣)

社内でプロジェクトチームを組んでいただき、専門家のアドバイスのもと、主体的に取り組みを進めています。